

中小企業のDXの現状と 県のデジタル化推進の取組について

宮崎県 総合政策部 産業政策課

(1)アンケートの目的

コロナ禍を経て、デジタル化・DXという言葉が社会経済に浸透して来ている中、改めて本県における産業のデジタル化に向けた県内事業者の現状把握、課題分析を目的として、アンケートを実施。

(2)アンケートの概要

【アンケート調査】

- ○実施時期:令和5年6月から10月
- ○対象事業者: 県内事業者約3,400者
- ○回答事業者数:474者(製造業95者、小売・卸売業83者、宿泊・

飲食サービス業52者、土木・建設業51者、サービス

業49者、情報通信業29者、その他115者)

【人材に関するヒアリング調査】

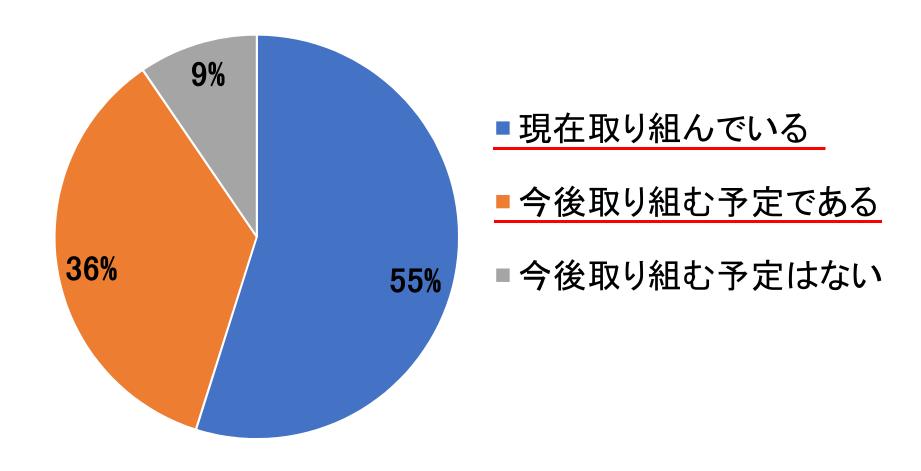
- ○実施時期:令和5年9月から10月
- ○対象事業者:17者(製造業4者、土木·建築業3者、小売·卸売

業5者、宿泊・飲食サービス業3者、運送業1者、

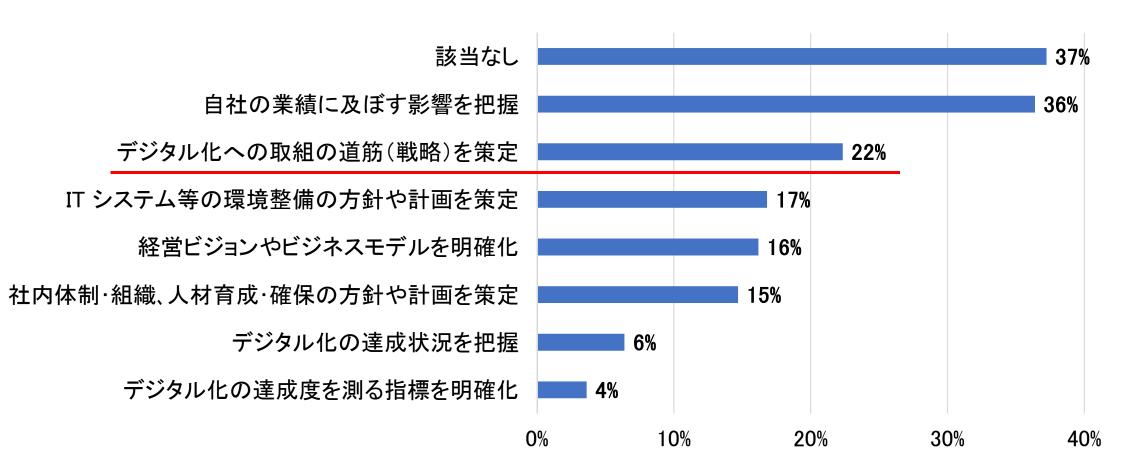
福祉サービス1者)



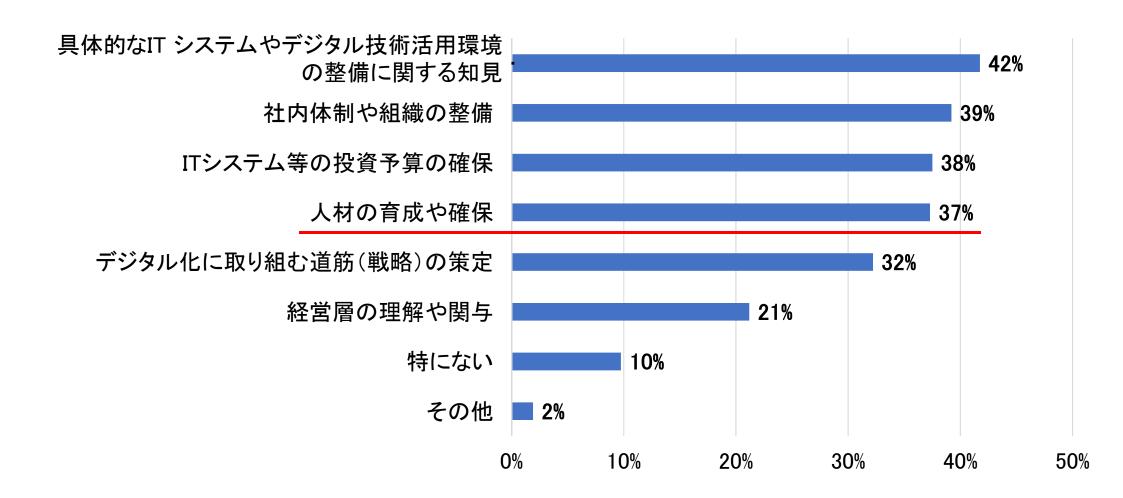
①デジタル化の現状



②デジタル化に取り組む基盤の有無



③デジタル化に取り組む上での課題 (複数回答)



④人材の育成・確保に関するヒアリング結果

○現状

デジタル担当部署に専門家がいない事業者が多く、人事異動もあり、 人材の育成・確保が難しい

○社内教育体制

社内教育の必要性を感じている事業者が多いが、教育体制が整っている事業者は ほとんどいない

○人材確保(求人)

デジタル担当職員の求人を行っている事業者が多いが、給与設定や人件費負担の問題等により採用は厳しい状況

○求める支援策

IT教育を行っている教育機関とのマッチングや外部人材の派遣支援、 人件費の補助などの支援

課題①

- ✓ほとんどの事業者がデジタル化に向けて前向きに捉えているが、計画的・継続的に取り組むための 戦略等を策定していない事業者が多い
- ✓経営層の理解や関与及び社内体制や組織の整備が進んでいない



○事業者の理解促進

(経営者から現場担当者まで、幅広い階層を対象にした啓発)

課題(2)

- ✓具体的なIT システム等に関する知見を備えた人材の育成・確保が進んでいない
- ✓社内教育や採用による人材育成・確保が難しい状況にある



○人材育成

(デジタル化を社内で推進できる人材やIT技術者の育成)

課題③

✓ITシステム等の投資予算を課題とする事業者が多く、具体的なIT システム等に関する知見を 備えるためにも身近な事例が必要



○実装支援

(費用対効果の高い優良事例を増やしていく)

2 県の主な取組について

○事業者の理解促進

- ✓ DXセミナー
- ✓ DX技術体験展示会

○人材育成

- ✓ DX塾
- ✓ ひなたデジタルアカデミア
- ✓ 地域密着型IT人材育成
- ✓ デジタルリスキリングアカデミー

○実装支援

- ✓ 産業デジタル実装支援
- ✓ 産業DXサポートセンター

D X セミナー

対象:県内事業者、産業支援機関(商工団体や金融機関など)

内容:具体的な事例などを通じて、DXの本質や進め方を学ぶセミナー

回	テーマ	日程	講演企業		
1	DX総論	8/30	G's ACADEMY 有限責任監査法人 トーマツ		
2	業務効率化・顧客価値アップのための 営業支援ツール/RPA活用	9/27	(株)マツリカ (株)batton 協栄工業(株)		
3	社員エンゲージメント向上や人材不足解消 のためのHR支援/副業人材活用	10/25	(株)ハッカズーク (株)botto (株)現場サポート		
4	AI、IoTを活用したデータ分析/業務変革	11/22	(株)バカン HMS(株) (株)Regnio		
5	BI、ロボットを用いた既存ビジネス変革/新事業創出	12/13	TechMagic(株) (株)テムザック (株)カホエンタープライズ		
6	変革に向けたDX	2/14	(株)DXパートナーズ		



協栄工業株式会社

Kyoei DX ???



2024年問題

建設事業者への 年間時間外労働時間の 上限規制



業務効率化のためのDX



< 第2回セミナー 業務効率化(R5.9.27)>



< 第1回セミナー DX総論 (R5.8.30) >

(令和4年度実績)

・全6回、延べ参加者数489名

みやざきDX技術体験展示会

対象:主に県内事業者

内容:最新デジタル技術やDXソリューションを紹介する展示会を開催

併せて一般県民を含めたDXへの啓発を進めるためのフォーラムを開催







(令和4年度実績)

- ・延べ来場者数508名
- ・出展者20社(うち県外10社)







DX塾

対象:県内事業者、産業支援機関(商工団体や金融機関など)

内容:事業者の現場を実習フィールドとして、課題の洗い出しやデジタルを

活用した改善のアイデア出しなど、"DXの一歩"を踏み出すための

手法を学ぶ連続講座

< 塾生リスト(20社・団体、23名参加) >

回	テーマ	日程	場所	
1	開塾・総論	R5.9.5	KITENビル	
2	フィールドワーク①	R5.10.4	株MFE HIMUKA	
3	ワークショップ①	R5.11.8	KITENビル	
4	フィールドワーク②	R4.12.2	大和フロンティア(株)	
5	ワークショップ②	R5.1.16	県庁	
6	閉塾·成果発表会	R5.2.3	県庁	

(公財)宮崎県産業振興機構	(有)悟空
㈱宮崎銀行	(株)サニー・シーリング
㈱宮崎太陽銀行	(株)システム技研
延岡信用金庫	外山木材㈱
えびの電子工業㈱	(社福)ときわ会
(株)エル・エー・ビー	野崎漬物㈱
(株)オファサポート	(一社)日向市観光協会
キリシマドリームファーム(株)	日向商工会議所
霧島ホールディングス(株)	HYYORI
㈱興電舎	森山工業㈱

(令和4年度実績)

- ・16社・団体より21名参加
- ・全6回(うちフィールドワーク4回)



<第1回塾 開塾・総論講義>



<第2回フィールドワーク① 現場担当者よりヒアリング >



<第2回フィールドワーク① 事前講義 >



< 第2回フィールドワーク① グループワーク >

ひなたデジタルアカデミア

対象:県内就職を希望し、ITスキル向上の意欲ある高校生及び大学生

内容: ITスキル関連の連続講座、IT企業等への就職支援

(インターンシップや企業説明会等)

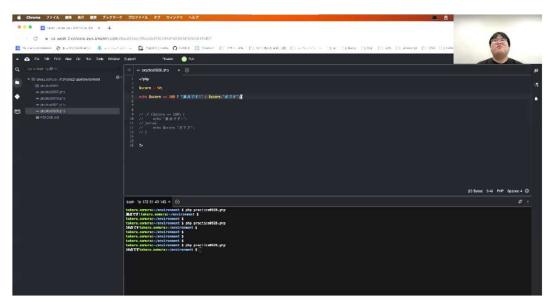




< 受講生75名(うちアドバンスコース5名)>

(令和4年度実績)

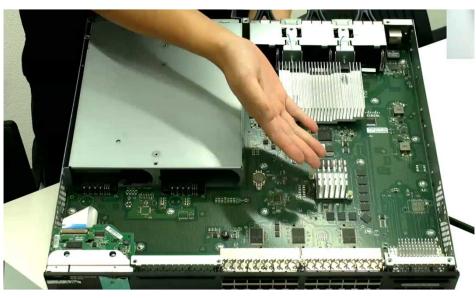
・受講生58名、うち修了者45名



< R5.9.28 プログラミング実践コース第6回講義 >



< R5.10.3 基礎的ITリテラシーコース第8回(パネルディスカッション)>



< R5.9.26 基礎的ITリテラシーコース第7回(IT応用)>



< R5.9.22 インターンシップ(オロ宮崎)>

地域密着型IT人材育成

対象:ITスキルを習得し、県内企業への就職を目指す離職者及び求職者

内容:ITスキル習得のためのWEB講座(オンデマンド)

県内企業への就職支援(インターンシップ、企業説明会等)



< 受講生: 72名>

※11月末現在

(令和4年度実績)

・82名受講、うち48名就職

第1ステージ		
コース名	講座名	
IT知識	ITバスポート	
11709%	情報セキュリティマネジメント	
デザイン	Photoshop	
7 942	Illustrator	
制作	HTML/CSS	
41.64	JavaScript	
エンジニア	PHPプログラミング	
	Javaプログラミング	
広告運用	SNSマーケティング	
四日廷用	webマーケティング	

第一ステージ受講完了後

第2ステージ		
コース名	講座名	
デザイン	Adobe XD	
7 942	UI/UXデザイン	
\$11. 4/ □	WordPress	
制作	PremierePro	
	SQL	
エンジニア	Pythonプログラミング	
±/9=/	Linux	
	ネットワーク	
カスタマー	カスタマーサポート	







< R5.9.25 インターンシップ (D2C) >

デジタルリスキリングアカデミー

対象:県内事業者及びその従業員

内容:経営層や一般従業員など、それぞれに必要なデジタル技術等を学ぶ講座

- ①経営・マネジメント層向け [R5.11月~R6.2月(対面)40名] デジタル時代において正しい意思決定ができる人材を育成
- ②**デジタルリーダー層向け**〔R5.11月~R6.3月(対面・オンライン)52名〕 社内のデジタル化をリードできる人材を育成
- ③一般従業員層向け [R5.11月~R6.3月(オンライン) 前期・後期合計87名] 基礎的なデジタルスキルを身につけ、デジタル時代に適応できる人材を育成

※参加者数は11月末現在

■ 経営・マネジメント層向け

業務効率化/コストカット実現

デジタル化実装で売上UP

成功事例を当事者から聴講

■ デジタルリーダー層向け

最新のデジタルスキルを習得

社内デジタル化を主導推進

実践型の学びで即戦力に!

■ 一般従業員層向け

基礎の基礎からパソコンを習得

デジタルスキルでキャリアアップ

ライブ・動画学習で移動不要



< R5.11.10 経営・マネジメント層向け第1回>



< R5.11.20 リーダー層向け第1回>

2 県の主な取組について ~実装支援~

産業デジタル実装支援

対象: 県内事業者

内容:事業者の規模や業種に応じたデジタル技術等の導入を支援

区分	補助対象事業	補助率	補助金額
TYPE1	効率化・省力化等の生産性向上につながるデジタル 技術等の導入に要する経費	1/2	上限: 250万円 下限: 100万円
TYPE2	TYPE1より高度な業務プロセスの見直しを含む デジタル技術等の導入に要する経費	1/2	上限: 500万円 下限: 100万円
TYPE3	TYPE2より高度なAIやIoTなどのデジタル技術等の 導入やデジタルを活用した経営の変革(DX)に つながる取組に要する経費	1/2	上限: 2,000万円 下限: 500万円

※予算枠 TYPE1:5,000万円、TYPE2/3:10,000万円

く採択実績>

·TYPE1 : 25件、5,000万円 ·TYPE2/3: 20件、6,814万円

※11月末現在

(令和4年度実績)

•補助実績:12件、9,632万円

2 県の主な取組について ~実装支援~

産業DXサポートセンター

(R5.6.30設置)

- < 相談実績>
 - ·100事業者
 - ・延べ255件

※11月末現在

- 対象:県内事業者
- 内容: 県内事業者のDXを一歩目からサポートしていくことを目的として設置

委託先:一般社団法人宮崎県情報産業協会(MISA)

相談の流れ



申込み

特設サイトまたは直接 窓口にてお申し込みく ださい。相談シートを記 載頂きます。 STEP 02



相談

相談シートに基づき、相 談員によるヒアリングを 行います。 STEP 03



現場確認など

専門部会による現場確認、課題の整理、DXプランの策定支援などを行います。

STEP O4

継続支援

具体的なシステム導入に向けた実証(デジタル化スタートアップ支援:補助率2/3以内、上限額50万円)の実施などを行います。